学校だより

温故知新

恵那市立岩邑中学校

学校の教育目標

確かな学力 豊かな心 逞しい体

令和5年1月10日

『 節目をつくる 』

校長 丸山 成之

皆さんもよく知っていると思いますが、毎年ニュースでも取り上げられる成人式は、多くの自治体で「成人の日」に行われています。この成人になる人を祝う成人式は、人生においてとても大きな意義のある行事です。

成人の日は、国民の祝日に関する法律で、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほめます」ことを趣旨として定められています。ですから、新成人となる人たちが「これまで両親や周りの大人たちに保護されてきた子ども時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚する」ための儀式といえます。

※成人年齢が18歳に引き下げられましたが、飲酒や喫煙など内容によっては20歳のままのものがあり、注意が必要です。また、成人式の実施日や参加者の年齢については自治体によって異なります。お盆等の帰省に合わせて実施するところもあります。

皆さんもあと数年で成人となります。成人になれば、世間からは立派な大人として扱われます。自立した一人前の人間として、自覚と責任をもって大人社会へ仲間入りしてほしいと願っています。

それでは、自立した人間になるにはどうしたらよいか。

正月に飾られる門松を思い浮かべてください。門松の真ん中には竹が立っています。竹には節があります。この節のおかげで竹は風雪に耐え、しっかりと大地に立っています。

人もしっかりとした節目をもつことが大切です。竹の節はタケノコの中から準備されていますが、人の節目は自分でしっかりとつくらねばなりません。人の節目は、一つのことに真剣に取り組んだ努力の結果でつくられるものです。ちょうど今、三年生が受験に向けて頑張っています。ここで頑張って人生の一つの山を越えることで、しっかりとした節目ができるのです。その節目が人生でこれから出会うであろう、さまざまな困難を乗り越えていく力となるのです。

自立した一人前の人間になって、大人の社会へ仲間入りすることができるように、今やるべき一つ一つのことに真剣に取り組んで、しっかりとした節目をつかっていきましょう。